

デイリー・ジーザス・ニュース #347

天国におけるイエスの永遠の奉仕

初代教会における復活したイエスの継続した言葉と働き

イエスはペンテコステで聖霊を注ぎ、天国での宣教を続ける

使徒行伝 1章1-2節; 2章1-5節, 16-21節, 33節, 36節

=====

1.1 私の最初の本、テオフィロスでは、イエスが自ら選んだ使徒たちに聖霊を通して命令を与えた後、天に上げられる日まで、イエスが絶えず行い、教え続けたすべてのことについて書きました。

2.1 ペンテコステの日が満ち、弟子たちは皆、一つの場所に集まっていました。2 すると突然、激しい風のとどろきのような音が天から起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡りました。3 すると、炎のような舌が分かれて、弟子たち一人一人の上にとどまるのが見えました。4 弟子たちは皆、聖霊に満たされ、聖霊が与える言葉どおりに、他国の言葉で話し始めました。

16 ペテロは立ち上がって言った。 」これは預言者ヨエルによって言われたことです。

17 終わりの日に神はこう言われます。

わたしはあらゆる人々にわたしの霊を注ぎます。

あなたの息子や娘は預言するでしょう。

あなたの若者たちは幻を見るでしょう、

あなたの老人たちは様々な夢を見るでしょう。

18 そうだ...私の男奴隷と女奴隷に

その日にはわたしはわたしの霊を注ぎ、

そして彼らはわたしの言葉を宣べ伝えるであろう。

19 わたしは上なる天に奇跡を起こす

そして地上の兆候は――

血と炎と巨大な煙の渦。

20 太陽は暗くなる

月は血に染まる

主の偉大で注目すべき日が来る前に。

21 そして、呼び求める者は

主の名を祈り求める者は救われるであろう。」（ヨエル書 2章28-32節）

33 」イエスは神の右に上げられ、父から約束された聖霊を受けたので、あなたがたが今見聞きしているものを、この方から注いでくださったのです。36 ですから、私はすべてのイスラエルの人々に命じます。神は、あなたがたが十字架につけたこのイエスを、主なる神またメシアとしてお立てになったのです。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	天国のイエス、地上のエルサレムの二階の部屋
タイムライン	5月中旬（40ヶ月目）
イエスの生涯の文脈	第9段階：イエスの復活と永遠の宣教
	イエスの永遠の奉仕
	初代教会におけるイエスの言葉と働き
タイトル：	イエスはペンテコステで聖霊を注ぐ

の昇天から10日が経ちました。それはペンテコステの日、過ぎ越しの祭りから50日目でした。ペンテコステの祭りでは、大祭司が小麦から二つのパンを発酵させ、神殿の内庭で主の前に差し出しました。この旧約聖書の祭りは、ヤハウェがモーセを通して十戒を含むトーラー、すなわち律法を民に授けた日を記念するものでした。

ペンテコステのこの特別な日に、三位一体の主であるヤハウェは、新約の信者すべてに、神の内在する臨在として聖霊を与えました。ヘブライ人への手紙の著者は、預言者エレミヤの言葉を引用してこう書いています。（エレミヤ記31章33-34節）

10 これはわたしがイスラエルの人々と立てる新しい契約である

その時以降は、と主は言われる。

わたしは彼らの心にわたしの律法を植え付ける

それを心に書き記しなさい。

私は彼らの神となる。

そして彼らは私の民となるでしょう。

11 彼らはもはや隣人に教えず、

あるいは互いに「主を知れ。と言いなさい」「

皆が私を知っているから

最も小さい者から最も大きな者まで。

12 わたしは彼らの悪を赦すからである

そして彼らはもはや自分の罪を思い出さないであろう。」

13 神はこの契約を「新しい」と呼んで、最初の契約を廃れたものとされました。そして、廃れて時代遅れになったものは、すぐに消え去ります。(NIV)ヘブライ人への手紙8章10-13節

エレミヤ、ヨエル(ペテロがペンテコステの日に聖霊の降臨を説明する際に引用した人物)、イザヤ、そしてその他多くの旧約聖書の預言者たちは、すべての信者が聖霊の力に満たされ、内住する時代が来ることを告げていました。バプテスマのヨハネは、イエスがすべての弟子たちを聖霊に浸すと預言しました。イエスは弟子たちに、聖霊の永遠の内住と働きを約束されました(ヨハネ14:16-24; 使徒行伝1:5-8)。

ペンテコステの日に、イエスは約束された聖霊をすべての弟子たちに同時に遣わされました。ペテロはこう証言しました。

「あなたが今見聞きしていることは、イエスが注ぎ出したものなのです。」使徒行伝2章33節

ペンテコステ以来、イエスを新たに信じるすべての人は、イエスを私たちの主、神として信じる瞬間から、内住する聖霊の賜物を受けています。これは、ペンテコステに始まった復活したイエスの働きの永遠の遺産です。

イエスが天に昇られたとき、私たちの代表として私たち皆を連れて行かれました。私たちはイエスと共に復活し、昇天しました。なぜなら、イエスは天における高貴な地位の恩恵と特権のすべてを私たちと分かち合ってくださいからです。そして、イエスは地上におけるご自身の内住の代表者として聖霊を私たちに遣わし、私たち一人一人を復活されたご自身の存在と永遠に結びつけ

てくださいました。イエスは今、御霊によって私たちの内におられ、私たちは天におけるイエスの地位において、イエスにあって生きています。聖霊におけるイエスとの一体化によって、私たちの間の時間と空間の障壁は取り払われました。

地上におけるイエスの肉体の生涯は確かに栄光に満ちていましたが、もし彼の生涯が墓の中で終わっていたならば、それは歴史の中、そして肉体のイエスを実際に知っていた人々だけに限られたものだったでしょう。イエスは復活し、昇天し、御霊を私たちに送ってくださったので、私たちも彼の愛と臨在から永遠に引き離されることは決してありません。それは、父と子と聖霊が互いに永遠に引き離されることがないようにです。

父から子を通して与えられる聖霊の賜物は、三位一体の恵みの他のあらゆる表現と同様に、イエスが永遠の天における宣教活動において引き続き行っている最初の、そしてある意味では最も重要な働きでした。この賜物は、救い主、主としてのイエスの宣教活動の頂点を成し、すべての信者を、三位一体の神そのものにおける父、子、聖霊の結合を模範とする、イエスとの永遠の結合へと導くものでした。

ペンテコステは、イエスを目に見えない形で、しかし肉と血の体を持っていた時代よりもはるかに力強い姿で地上に蘇らせました。だからこそ、イエスの生涯の研究は、天に戻って聖霊を遣わされた後の生涯と働きを含めてこそ完成するのです。ペンテコステは、復活したイエスをすべての時代の信者と直接結びつけます。

ペンテコステは、イエスが真に神であり人であることを示す究極の証拠です。聖霊の臨在を与えることができるのは神だけです。イエスこそその神です。だからこそペテロはこう宣言したのです。

33」イエスは神の右に上げられ、父から約束された聖霊を受けたので、あなたがたが今見聞きしているものを、この方から注いでくださったのです。36 ですから、私はすべてのイスラエルの人々に命じます。神は、あなたがたが十字架につけたこのイエスを、主なる神またメシアとしてお立てになったのです。」

イースターでイエスの復活を祝ってから 50 日後、私たちは毎年ペンテコステの日を記念して、ペンテコステを可能にした天国でのイエスの永遠の奉仕を記念します。

応用：

旧約のペンテコステは、トーラー（律法）の授与を祝いました。新約のペンテコステは、聖霊の降臨を祝います。聖霊は、石板ではなく、内在する力を通して、神の言葉を私たちの心と精神に直接書き記します。

「聖霊の法則」とは、私たちが聖霊に頼るときに、イエスの命と人格の実を私たちの内に生み出す聖霊の力です。聖霊は神です。私たちがイエスを愛し、従うことができるよう、聖霊は決して私たちを裏切ったり、見捨てたりすることはありません。聖霊の力は、自然のどんな「法則」よりも信頼できるものです。

聖霊は今日、イエスに仕えるあなたにどのような力を与え、満たそうとしているでしょうか。

今日、あなたはどのように御霊の力に頼る必要がありますか？